



加勢

福岡に約8300平方メートルの新拠点を開設

九州と近畿の拠点を連動、高品質配送サービスを提供

加勢（本社・大阪市此花区、風間國義社長）はこのほど、福岡に新拠点「KASEI久山F ORCEPARK」（写真）を開設し、3月1日より稼働を開始すると発表した。

同社では、同施設と、昨年6月に開設した大阪の拠点「桜島FORCEPARK」（大阪市此花区）を輸送ネットワークで結んだ効率的な物流モデルを構築し、それにより、主に配送を

重視する通販企業や共同配送を希望する荷主企業へのサービスを提供していく考えだ。

「KASEI久山FORCEPARK」はプロロジスタク久山の1Fに入居する施設で倉庫面積は約8300平方メートル。TC（通過型センター）業務、DC

（在庫型センター）業務、流通加工業務を行うもので、TCではケース出荷数量1万5000個／1日、DCでは総出荷数量7000個／1日を想定。従来の保管型とあわせて1坪・1棚からの保管も可能とし、独自のセレクトシステムを活用することで、小・中規模の通販事業者の需要の取り込みを図る。

また、今後同社グループでは、輸送ネットワークを拡充し、関西と九州の拠点をつなげることで南九州の顧客向けに関西地方へのスピーディな配送を行うなど、高品質な配送サービスを提供していく考えだ。